

日本ビジネスコミュニケーション学会 ニュースレター 第13号

学会ホームページ：<http://www.abcj.org/>

事務局長：堀内龍文 連絡先：info@abcj.org

2011年11月15日

目 次

1. 関東支部会のご案内 12月3日午後3時半開催
2. 平成23年度年次大会の報告
1) 発表 2) パネル 3) 記念講演
3. 平成23年度総会、理事会の報告
4. 決算報告・予算報告
5. 新客員理事就任
6. 研究部会：地域コミュニケーション研究部会 第1回研究会
7. 学生発表会：予選と最終選考

12月3日（土）関東支部会を開催します。15:30～18:45

グローバル人材育成の課題

日本企業の海外進出は組織の大小や種類を問わずほぼ全領域に渡り進み、ユニクロのような小売り業も海外進出を経営戦略の最重要課題として位置づけています。しかし、日本企業にとって海外要員としてのグローバル人材の育成は極めて難しく大きな課題となっています。

学会では、昨年に関東支部大会で学生を対象とした「社会人基礎」をテーマに国内人材育成のシンポジウムを行いました。今年には日本企業喫緊の課題であるグローバル人材をどのように育成すべきか、企業や大学は研修や教育で何を育成すべきかを考えます。特に国際人材の育成では日本企業より早くから着手し徹底した方法で成功したと言われる韓国企業の成功例を参考に考えて見たいと思います。また地域的に見て、最も必要とされる「アジア人材」、「中国人材」についても検討致します。

2011年度関東支部会プログラム

テーマ： 日本企業におけるグローバル人材育成の課題
—企業研修・大学教育で何を育成すべきか—

日 時：2011年12月3日（土） 15：30～18：45

場 所：拓殖大学文教キャンパス国際交流会館 F301

参加費： 会 員：1人1000円、非会員：1人2000円、学部生・院生：無料

受 付：15:00開始

開会式：15:30～15:35

基調講演 15:35～16:35

日本企業におけるグローバル人材育成の課題
— サムスンの経営戦略と人材育成から学ぶ —

Cho Do-sop 横浜国立大学経営学部教授

パネル討論会 16:40～18:35 司会 武上幸之助 拓殖大学商学部教授

第1部 パネリストの発表 (16:50～17:30)

鄭 偉 「日本企業の中国人材の育成」

拓殖大学講師・上海外語大学大学院講師

中川有紀子 「日系、米系企業の「アジア人材」の獲得と育成」

慶應義塾大学産業研究所研究員・米系企業人事部長

原田康也 「グローバル人材育成と英語教育」

早稲田大学法学学術院教授・情報教育研究所所長、日本英語教育学会会長

第2部 パネリストの討論 (17:30～18:15)

Cho Do-sop、原田康也、鄭 偉、中川有紀子

パネルの総括 18:15～18:35 コメント：絹巻康史、川島彪秀、中川十郎他

閉会式 18:35～18:45 閉会挨拶、学生発表会の表彰

★ 関東部会の前に第2回学生発表会の最終選考会を14：00～15：25まで同じ会場で開催します。ご自由にご参加下さい。

平成23年度 ABCJ年次大会の報告 大会テーマ：大震災と危機管理能力

後 援： 拓殖大学経営経理研究所

14：00～14：20 会員総会

14：25～14：30 開会式 中林常任理事（関西支部長）の挨拶



14:35~14:55 会員研究報告「日系多国籍企業の新興国における現地法人組織経営」
報告者：中川 有紀子（慶應義塾大学産業研究所）



15:00~15:30 講演① 「危機管理と対応力」
北出 至（企業危機管理 株式会社ジョスラン代表取締役社長）



15:35～16:05 講演②「危機管理と組織」

講師：石川 昭（日本危機管理学会名誉会長、青山学院大学名誉教授）



16:10～16:40 講演③「危機管理とリーダーシップ」

講師：矢野義昭（日本安全保障・危機管理学会理事）

ン学会 平成 23年度年次



16:45～17:55 パネルディスカッション

テーマ「大震災と危機管理能力」

司会 仮野忠男（政治ジャーナリスト、元毎日新聞政治論説委員）

パネリスト： 石川昭、矢野義昭、北出至

コメンテーター：下條正男（拓殖大学国際学部教授・人文科学研究所所長）



18:00～18:40 記念講演「大震災と危機管理能力」

渡辺 利夫（拓殖大学学長）

司 会 絹巻 康史（学会長 拓殖大学客員教授 国際商取引学会元会長）



18:40 閉会式

総会と第2回理事会の報告

平成23年度 総会議事録

総会は第3回年次大会の開会式前に同じ国際教育会館3階301教室14:00から14:20まで開催された。議長は中林常任理事が、司会・書記は堀内事務局長が担当した。下記の会計、活動方針、役員人事等の報告があり、承認された。

1. 会計報告

堀内事務局長から昨年度会計報告と今年度予算報告が行われ、審議の結果、承認された。

2. 活動方針

北出理事長より今年度の活動が報告され承認された。

3. 新役員人事

北出理事長より6月の第1回理事会で承認を受けた新役員人事が報告され、承認された。以上

平成23年度第2回理事会議事録

日時：10月1日（土）13時10分～13時50分

場所：拓殖大学文京キャンパス国際教育会館301教室

出席者：絹巻康史・北出亮・中林眞佐男・堀内龍文・鄭偉・武上幸之助、鈴木沙織

委任状：川島彪秀、横江幸彦

理事会は、北出理事長の議長により議事進行が行われ、下記のとおり報告、承認、確認が行われた。

司会：堀内事務局長、書記：鈴木沙織

議題

1. 平成23年度総会・年次大会の準備報告

実行委員会が、堀内龍文氏・今井泰文氏・清水沙織氏・岩瀬賢一氏で発足され、委員長の堀内龍文氏を中心に総会・大会の準備が行われ開催の運びとなった旨が報告された。

2. 平成22年度決算・平成23年度予算の承認

会費の取扱と関西支部への予算配分が議論され合意が形成された。当該合意に基づき事務局にて決算書・予算書を作成し後日メールによる議決がなされることが確認された。

3. 関東支部会開催準備について（12月3日）

武上理事と鄭理事が中心となって行う旨確認された。

4. 専門部会の活動について

9月10日に地域コミュニケーション研究部会が開催された旨報告された。今後、各理事の専門性を活かし、専門部会を展開する件につき確認された。

5. 関西支部活動報告

中林関西支部長より、11月26日に関西支部会が開催される等の活動報告がなされた。また関西支部・関東支部における活動と会計につき、公平性と透明性に関する問題提起がなされた。理事会として両支部会員の合意が得られる体制の構築に鋭意取り組むことを確認した。以上

議事録（堀内事務局長、鈴木沙織）

決算報告・予算報告

★ここに入れてください。表紙は入りません。2 ページ分

客員理事就任報告

新に下記の方々が当学会の客員理事に就任されました。

原田康也 早稲田大学法学学術院教授・情報教育研究所所長、日本英語教育学会会長
砂岡和子 早稲田大学政治経済学術院教授、中文現代化学会常任理事、東日本漢語教師協会理事
馬越恵美子 桜美林大学経済経営学系教授・異文化経営学会会長
佐藤勇治 熊本学園大学外国語学部長・教授

新企画：専門分野別研究部会の発足と報告 地域コミュニケーション研究部会 第1回研究会

会員が最も関心のある分野で研究を進める専門分野別の研究部会が本年度新に発足致しました。会員から既に幾つかご提案やご希望がありますが、地域コミュニケーション研究部会が発足しその第1回の研究会が9月10日拓大国際教育会館で開催されました。研究会講師の上矢洋久氏が部会長に就任致しました。詳しくは研究部会通信をご覧ください。

★この所に研究部会通信を入れてください。

学会後援の学生発表会（予選会と決勝）

昨年同様に ABCJ 後援の学生発表会を行います。既に 18 チームが 11 月 12 日（土）の第一次選考会に応募し、審査の結果 6 チームが選ばれました。最終審査は 12 月 3 日 14：00～15：25 まで拓殖大学文京キャンパス国際教育会館 F301 教室で行われます。優れた研究発表には最優秀賞、優秀賞が与えられます。参加は無料です。ご自由にご参加下さい。